

ウォータービューシリーズ 施工要領

1 ボール基礎の床掘りをします。
(L600×W600×H370mm)

2 クラッシュランを敷設し(L500×W500×H100mm)十分に転圧した後、捨てコンクリートを打設します。
(L500×W500×H50mm)

3 基礎の中央にボールを垂直に立て、接続用ソケット(バルブソケットVS-13 現場調達品) 給水パイプ(塩ビパイプVP-13 現場調達品)を接続します。ボールに接続するまでの給水パイプは必要に応じた埋込深さを確保してください。

4 ボールのレベルを調整し、基礎コンクリートを打設します。(L400×W400×H150mm)

5 パンの大きさをより周囲100mm大きく、100mmの深さで床掘りします。同時にボールの基礎をGLから100mmの深さまで埋め戻し十分に転圧します。このとき排水パイプ(塩ビパイプVU-40、ステンパンはUV-50現場調達品)をパンの穴位置に合わせて埋設しておきます。排水パイプの上端はGLと同じ高さにしてください。(ステンパンはGL-10mm程度、陶器パンはGL+5mm程度)

6 クラッシュランを50mm敷設し転圧した後、その上に空練りモルタルを30mm敷設します。

7 パンをセットしレベルを調整します。パンの周囲を埋め戻してください。

8 排水パイプとパンの隙間をシリコン系のコーキング剤で充填し、目皿をセットします。ステンパンと陶器パンは排水金具を排水パイプに落とし込むだけでOKです。タップをセットする前に、施工中に配管内に混入した異物(パイプ切りカス、砂、土など)を取り除くため、フラッシング(配管に通水し異物を流し出す)を行います。フラッシングで異物を取り除いてから、タップをセットし施工完了です。

ウォータービュー・Dex・ウッド・キャスト・アスティについても、施工手順は共通です。基礎寸法等が異なりますので、寸法図を確認し、施工してください。

※フラッシングを行わないと、タップのパッキン部に異物が混入し、タップの水漏れの原因となります。必ず行ってからタップをセットしてください。

※給水パイプやタップ(蛇口)のネジ接続には必ずシールテープ(現場調達品)を使用し、水漏れがないことを確認してください。

※水道工事は水道工事店にご依頼ください。